

2024

AOYAMA
GREEN
FESTIVAL

第31回 青山学院大学同窓祭

神学科同窓会 公開講座

平和と和解の継承 ～英連邦戦没捕虜追悼礼拝の歴史的な意義～

永瀬隆、雨宮剛、関田寛雄、奥津隆雄。この四人はいずれも青山学院大学の卒業者です。永瀬氏（故人）は旧文学部英語科卒、のちに大日本帝国陸軍通訳、戦後は英語教師。雨宮氏（故人）は新制大学英文科卒、のちに経営学部名誉教授。関田氏（故人）は文学部神学科卒、のちに経営学部宗教主任。奥津氏は経営学部卒、現在飯能ホライズンチャペル牧師。

この四人に共通する事がもう一つあります。横浜市保土ヶ谷の英連邦戦死者墓地で1995年以来毎年「英連邦戦没捕虜追悼礼拝」を呼びかけ、実施してきた方々であることです。なぜ、第二次世界大戦の連合国側「戦死者」の墓地がそこにあるのでしょうか。何を目的としてそこで「追悼礼拝」が実施されるのでしょうか。現在その実行委員会代表である奥津隆雄牧師がその「歴史的な意義」を話していただきます。

講師 **奥津隆雄氏**

2024年

日時 **9月16日(月・代休)**

午前 10:30～12:00 (開催時間が変更されました)

会場 **17号館 17303 番教室**

奥津隆雄氏 (おくつ たかお)

1967年生まれ。神奈川県横須賀出身。

青山学院大学経営学部卒業。飯能ホライズンチャペル牧師。在学中に故雨宮剛教授に出会い、戦争と平和について体験的な学びを受ける。雨宮先生の誘いで英連邦戦没捕虜追悼礼拝に参加。また、故関田寛雄教授からご遺志とメッセージを引き継ぐ。実行委員会代表。聖望学園高校英語科非常勤講師。

『平和と和解への道のり「英連邦戦没捕虜追悼礼拝」20年の歩み』(2015年)編集。

『平和と和解の継承—関田寛雄先生・雨宮剛先生追悼記念集—』を今夏刊行。

